

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第40期第3四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社スタジオアリス
【英訳名】	STUDIO ALICE Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川村 廣明
【本店の所在の場所】	大阪市北区梅田一丁目8番17号
【電話番号】	(06) 6343 - 2600
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 宗岡 直彦
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区梅田一丁目8番17号
【電話番号】	(06) 6343 - 2600
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 宗岡 直彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期連結 累計期間	第40期 第3四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成24年1月1日 至平成24年9月30日	自平成25年1月1日 至平成25年9月30日	自平成24年1月1日 至平成24年12月31日
売上高(千円)	20,762,456	21,931,736	33,794,147
経常利益(は損失)(千円)	110,112	710,992	4,446,349
四半期(当期)純利益(は損失)(千円)	350,532	905,577	1,720,121
四半期包括利益又は包括利益(千円)	280,044	723,029	1,870,674
純資産額(千円)	14,031,241	14,684,177	16,181,959
総資産額(千円)	23,205,055	24,555,687	24,781,244
1株当たり四半期(当期)純利益金額(は損失)(円)	20.40	52.71	100.13
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	58.9	57.9	63.7

回次	第39期 第3四半期連結 会計期間	第40期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(は損失)(円)	1.57	2.31

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、清算手続中であつた当社の連結子会社である上海久華紗服飾有限公司は、平成25年5月16日付で清算終了しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済政策や金融政策への期待感から円安、株高が進行し、景況感は緩やかではありますが回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、主力であるこども写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,931百万円（前年同期比5.6%の増加）、営業損失は699百万円（前年同期は108百万円の営業利益）、経常損失は710百万円（前年同期は110百万円の経常利益）、四半期純損失は905百万円（対前年同期555百万円の損失増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

（写真事業）

写真事業は、7月25日、新しいタイプのこども写真館「HALULU（ハルル）」を東京・自由が丘にオープンいたしました。また、「早撮り七五三キャンペーン」、並びに、「七五三お出かけ着物レンタル」の件数獲得を図るため、チラシ広告やWeb媒体等による販売促進活動を行うとともに、9月から始まる「七五三撮影でアリスデビュー」キャンペーン（七五三撮影をされる新規のお客様対象）をアピールするため、昨年を大きく上回る本数のテレビコマーシャルを全国で放映いたしました。

これらの取り組みにより、フランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は、前年同期比で110.2%となり、開店1年以上経過した既存店の撮影件数は106.8%となりました。

国内こども写真館の出店状況は、移転5店舗を含み22店舗出店し、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を64店舗実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館444店舗（直営店舗434店・フランチャイズ店舗10店）、大人向け写真館1店舗、アミューズメント写真館3店舗、韓国の子会社におけるこども写真館6店舗、台湾の合併会社におけるこども写真館6店舗を含め、460店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は21,758百万円（前年同期比5.7%の増加）、セグメント損失は742百万円（前年同期は71百万円のセグメント利益）となりました。なお、セグメント損失の増加要因は、当社単体の売上原価の増加、および、差別化強化のための広告宣伝の強化等による販管費の増加であります。

（衣装製造卸売事業）

衣装製造卸売事業は、当社向け衣装の更なる生産コストの低減を図るため、生産工数の効率化向上に取り組みました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,548百万円（前年同期比9.9%の増加）、セグメント利益は251百万円（前年同期比85.3%の増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ225百万円減少し24,555百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,586百万円減少の9,616百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ1,360百万円増加の14,939百万円となりました。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,272百万円増加し9,871百万円となりました。

流動負債は、短期借入金増加等により、前連結会計年度末と比べ1,252百万円増加の7,828百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加等により、前連結会計年度末と比べ19百万円増加の2,043百万円となりました。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,497百万円減少し14,684百万円となりました。

これは主に、当第3四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,888,000
計	30,888,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,185,650	17,185,650	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	17,185,650	17,185,650	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1 日～平成25年9月30 日	-	17,185,650	-	1,885,950	-	2,055,449

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,200	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,162,000	171,620	同上
単元未満株式	普通株式 17,450	-	1単元(100株) 未満の株式
発行済株式総数	17,185,650	-	-
総株主の議決権	-	171,620	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)スタジオアリス	大阪市北区梅田 1-8-17	6,200	-	6,200	0.04
計	-	6,200	-	6,200	0.04

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,688,092	4,511,005
受取手形及び売掛金	778,781	1,066,586
たな卸資産	979,923	937,239
その他	1,796,173	3,132,634
貸倒引当金	40,280	31,170
流動資産合計	11,202,691	9,616,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,652,072	6,335,188
その他(純額)	3,105,685	3,734,073
有形固定資産合計	8,757,758	10,069,261
無形固定資産	740,142	922,835
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,904,612	2,973,280
その他	1,319,375	1,114,348
貸倒引当金	143,335	140,335
投資その他の資産合計	4,080,652	3,947,293
固定資産合計	13,578,553	14,939,391
資産合計	24,781,244	24,555,687
負債の部		
流動負債		
買掛金	312,956	246,344
短期借入金	1,350,000	2,250,000
1年内返済予定の長期借入金	456,670	270,000
未払法人税等	907,129	113,126
賞与引当金	4,868	7,742
関係会社整理損失引当金	27,633	-
その他	3,516,196	4,940,916
流動負債合計	6,575,454	7,828,130
固定負債		
長期借入金	215,000	50,000
退職給付引当金	477,136	522,621
資産除去債務	839,930	868,966
その他	491,763	601,791
固定負債合計	2,023,830	2,043,379
負債合計	8,599,284	9,871,509

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	11,871,590	10,192,940
自己株式	9,222	9,222
株主資本合計	15,803,767	14,125,116
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,210	86,287
その他の包括利益累計額合計	27,210	86,287
少数株主持分	405,402	472,773
純資産合計	16,181,959	14,684,177
負債純資産合計	24,781,244	24,555,687

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,762,456	21,931,736
売上原価	15,765,893	17,219,150
売上総利益	4,996,563	4,712,586
販売費及び一般管理費	4,887,686	5,411,632
営業利益又は営業損失()	108,876	699,046
営業外収益		
受取利息	2,594	2,370
受取家賃	18,848	19,412
雑収入	21,370	21,978
営業外収益合計	42,813	43,760
営業外費用		
支払利息	26,082	18,207
店舗解約損	-	19,999
為替差損	11,088	14,131
雑損失	4,405	3,368
営業外費用合計	41,577	55,706
経常利益又は経常損失()	110,112	710,992
特別利益		
負ののれん発生益	3,262	-
特別利益合計	3,262	-
特別損失		
固定資産売却損	24,916	-
固定資産廃棄損	178,742	167,441
減損損失	161,370	49,591
ゴルフ会員権評価損	3,285	-
関係会社整理損	-	38,026
特別損失合計	368,314	255,059
税金等調整前四半期純損失()	254,939	966,051
法人税、住民税及び事業税	390,929	313,974
法人税等調整額	328,722	441,819
法人税等合計	62,206	127,845
少数株主損益調整前四半期純損失()	317,145	838,206
少数株主利益	33,386	67,370
四半期純損失()	350,532	905,577

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	317,145	838,206
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	37,101	115,177
その他の包括利益合計	37,101	115,177
四半期包括利益	280,044	723,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,635	796,445
少数株主に係る四半期包括利益	37,590	73,416

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

上海久華紗服飾有限公司は平成25年5月に清算が終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

当社グループの写真事業では、主として第4四半期の撮影機会(七五三等)が多いため、通常、第4四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ、著しく高くなっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
減価償却費	1,878,528千円	2,068,102千円
のれんの償却額	11,427	11,427

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	773,072	45	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	773,072	45	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,584,641	177,814	20,762,456	-	20,762,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157	1,231,870	1,232,027	1,232,027	-
計	20,584,798	1,409,685	21,994,484	1,232,027	20,762,456
セグメント利益	71,550	135,735	207,285	98,409	108,876

(注) 1. セグメント利益調整額 98,409千円には、固定資産の調整額等40,617千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 139,027千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、工場及び店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては161,370千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,758,176	173,559	21,931,736	-	21,931,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,375,199	1,375,199	1,375,199	-
計	21,758,176	1,548,759	23,306,935	1,375,199	21,931,736
セグメント利益又は 損失()	742,476	251,469	491,007	208,039	699,046

- (注) 1. セグメント利益又は損失()調整額 208,039千円には、固定資産の調整額等 49,321千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 158,717千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。
3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「こども写真事業」を「写真事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によりセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては49,591千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
1 株当たり四半期純損失金額	20円40銭	52円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 (千円)	350,532	905,577
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額 (千円)	350,532	905,577
普通株式の期中平均株式数 (千株)	17,179	17,179

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

株式会社スタジオアリス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石黒 訓 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤川 賢 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スタジオアリスの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スタジオアリス及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。